


分野	44	防災・安全	通番 116
施策	443	安全・安心な地域づくり	
5年後の目標		自助・互助・共助、公助が相互に補完しあい、防犯・交通安全など、地域の生活の安全・安心をつくり守る力が強まっている。	

概要							
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目		決算額(円)	担当課	
	防犯啓発・活動支援事業		会計	款	項	8,395,990	防災・安全 推進室
			一般	2	1		
事業の概要							
防犯委員会の活動や地域住民の自主的な防犯活動等に対し、活動支援を行います。 市と警察が協定を締結し、市民、行政、警察の相互連携により、安心・安全が実感できる住みよいまちづくりを推進します。							


令和2年度の取組							
D (取組)	指標	自主防犯活動実施回数				単位	回
	現状 (計画策定時)	年度	28	29	30	1	2
		目標	112	114	116	118	120
	111(平成26年度)	実績	84	128	128	140	75
<ul style="list-style-type: none"> ・地域の防犯意識の高揚を図るため、出前ミーティング等の防犯教室や警察・防犯委員・自治会が連携した防犯啓発事業、防犯パトロールを行いました。 ・10月の「地域防犯運動」では、自治会と警察と合同パトロールを実施し、特殊詐欺被害防止啓発チラシを配布しました。 ・青色回転灯パトロール車の定期的な巡回、小学校などの登下校時に合わせて通学路の巡回、特殊詐欺等の注意喚起アナウンス等の防犯活動を実施しました。 						地域防犯運動	
							

施策の「5年後の目標」に対する評価					
令和2年度の達成状況					
C (評価)	評価指標	関連する評価指標		評価指標の傾向・トレンド	対応頁
		市内での窃盗犯認知件数	防犯カメラの設置や地域による自主防犯活動等の取り組み、新型コロナウイルス感染症による外出自粛の影響もあり大幅に減少しました。		207
	達成度合	C:目標の一部を達成できなかった	達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響で自主防犯活動の実施回数が減少しました。 ・市民から要望のあった市内危険個所に防犯灯の新設・整備を行いました。 ・令和2年度中に市内で発生した窃盗犯の認知件数の減少は、新型コロナウイルス感染症による外出自粛の影響と防犯カメラの運用、特殊詐欺防止等の啓発活動の成果であると考えられます。 	
課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・犯罪の手口が年々巧妙化しているため、最新の情報を迅速かつ的確に市民に情報発信できるように、引き続き警察・市・地域が連携していくことが必要です。 ・キャッシュカードを騙しとるなどの特殊詐欺の被害が増加しているため、引き続き、出前ミーティング等の防犯教室や警察・市・地域防犯委員が情報共有して高齢者に向けての注意喚起・啓発を行う必要があります。 				

次年度以降の対応		
A (行動)	方向性	対応策等
	1:計画通りに進めることが適当	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民による自主防犯活動、青色回転灯パトロール車を活用した防犯委員による防犯パトロール及び特殊詐欺被害防止の啓発等を継続して行っていきます。 ・犯罪防止のため、年々巧妙化する犯罪の手口について警察と連携し、市民、特に高齢者への最新の情報の発信、啓発を行っていきます。 ・地域の一戸一灯運動により、地域主体で門灯・玄関灯の点灯を行うことで街を明るくして犯罪防止を推進していきます。

分野	44	防災・安全	通番 117
施策	443	安全・安心な地域づくり	
5年後の目標		自助、互助・共助、公助が相互に補完しあい、防犯・交通安全など、地域の生活の安全・安心をつくり守る力が強まっている。	

概要							
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目		決算額(円)	担当課	
	安全・安心地域見守り ネットワーク事業		会計	款	項	6,731,400	防災・安全 推進室
			一般	2	1		
事業の概要							
市内全域に犯罪の未然防止と検挙率の向上に大きな効果をあげる防犯カメラを設置します。さらに、防犯カメラにブルー투스を活用した高齢者・子どもの見守り機能を付加することにより、社会全体の見守り機能を強化し、安全安心が実感できる住みよいまちづくりを推進します。							


令和2年度の取組							
D (取組)	指標(H30年度～)	市内における刑法犯認知件数				単位	件
	現状 (計画策定時)	年度	28	29	30	1	2
		目標	/			400	350
	454(平成28年度)	実績	/			326	297
<ul style="list-style-type: none"> 警察、高齢介護課による照会に対して127件の閲覧等を実施し、犯罪捜査、行方不明者捜索へ寄与しました。 防犯カメラの存在を普及啓発するため、横断幕を2箇所、懸垂幕を1箇所設置しました。また、自治会協力のもと、啓発看板を211枚増設しました。 					見守り機能付き防犯カメラ イメージキャラクター 		

施策の「5年後の目標」に対する評価					
令和2年度の達成状況					
C (評価)	評価指標	関連する評価指標		評価指標の傾向・トレンド	対応頁
		—			—
	達成度合	A: 目標を達成又は上回って達成できた(目標の100%以上)	達成状況	<ul style="list-style-type: none"> 防犯カメラ設置による効果のほか、新型コロナウイルス感染症の蔓延による外出自粛も一因となり、街頭犯罪の発生が大幅に減少し、刑法犯認知件数は大幅に減少しました。 	
	課題等	<ul style="list-style-type: none"> 全国の犯罪情勢でも刑法犯認知件数は官民一体の防犯対策の推進や社会情勢の変化のほか、防犯カメラ等の防犯機器の普及により平成15年以降一貫して減少しています。防犯カメラ設置による効果は各種研究・検証結果により疑う余地はなく、本市における件数の減少も防犯カメラの効果が一因と考えられます。潜在的犯罪者や他地域からの流入等による発生を抑制し、効果を継続させるためにも、防犯カメラの存在の普及・啓発に継続して努める必要があります。 			

次年度以降の対応		
A (行動)	方向性	対応策等
	1: 計画通りに進めることが適当	<ul style="list-style-type: none"> 自治会協力のもと、看板の増設・更新を実施し、普及・啓発による抑止力の継続に努めます。

分野	44	防災・安全	通番 118
施策	443	安全・安心な地域づくり	
5年後の目標		自助、互助・共助、公助が相互に補完しあい、防犯・交通安全など、地域の生活の安全・安心をつくり守る力が強まっている。	

概要							
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目		決算額(円)	担当課	
	交通安全普及事業		会計	款	項	1,060,800	交通政策課
			一般	8	2		
事業の概要							
<p>交通事故の減少を図るため、交通ルールの遵守、マナーを普及するための指導者育成や、啓発活動を行います。特に、自転車事故が多いことから、自転車の安全指導や啓発を強化し、合わせて自転車通行空間の確保について調整を行います。</p> <p>また、新たな「ゾーン30」の検討や幹線道路における交通安全対策のための「事故ゼロプラン」の推進に努めます。</p>							

令和2年度の取組							
D (取組)	指標	市内交通事故発生件数				単位	件
	現 状 (計画策定時)	年度	28	29	30	1	2
	199(平成26年度)	目標	193	187	181	175	169
		実績	194	138	120	107	58
	指標	市内交通事故負傷者数				単位	人
	現 状 (計画策定時)	年度	28	29	30	1	2
	239(平成26年度)	目標	232	225	205	205	203
		実績	205	158	130	121	63
	<p>・ 通学路や園児等の移動経路における交通安全の確保のため、関係行政機関による道路や安全施設の点検や協議を行いました。</p> <p>・ 安全教育は、やすらぎクラブ長岡京が中心になり、「いきいき交通安全」講座のほか、映像機器を活用し感染予防対策を行いながら、高齢者対象の交通安全教室や小学生の自転車教室を実施しました。</p> <p>・ 市民要望があった場所や交通事故多発場所等において、交通ボランティアや警察と協同で、ハンドプレートやマイクを活用した広報啓発活動を行いました。</p>						
							
					自転車安全利用推進員講習会の様子		

施策の「5年後の目標」に対する評価				
令2年度の達成状況				
C (評価)	評価指標	関連する評価指標	評価指標の傾向・トレンド	対応員
		市内交通事故件数・負傷者数	令和2年中の市内交通事故(人身事故)発生件数と、市内交通事故負傷者数は、ともに前年と比べて下回っており、減少傾向が続いています。	208
	達成度合	A: 目標を達成又は上回って達成できた(目標の100%以上)	達成状況	<p>・ 令和2年中の市内交通事故(人身事故)発生件数は58件、負傷者数は63人で、目標値を大幅に達成しました。</p> <p>・ 令和2年中の市内交通事故死者は0人で、前年と比べて減少しました。</p> <p>・ 負傷者63人のうち、最も多い自転車事故は、全体に占める割合が31.7%と高くなっています。また、歩行中等事故のうち、道路横断中の事故は、横断歩道横断中が60.0%と高くなりました。</p>
課題等	<p>・ 負傷者63人のうち、自転車事故の占める割合が31.7%と高く、また、横断歩道横断中の歩行者に対して、より効果的で適切な交通安全教育の手段・手法の確立が課題です。</p> <p>・ 令和2年度、市自転車活用推進計画策定により、自転車利用環境整備に合わせ、交通ルール遵守とマナーを向上させる施策が必要です。</p>			

次年度以降の対応	
A (行動)	<p>方向性</p> <p>1: 計画通りに進めることが適当</p> <p>対応策等</p> <p>・ 交通安全教育については、体系的、計画的に行うことが望ましく、引き続き、知識や経験がある交通教育指導員から、幼、小・中学校や、高齢者団体等へ交通安全教室やタイムリーな情報・資料提供を行っていきます。</p> <p>・ 高齢運転者と自転車運転者の事故対策についても、引き続き交通ボランティアや関係機関と協同でマナー向上に向けた活動を街頭で行っていきます。</p>